

R3.12.21 寺子屋
ローカルSDGs

地域コーディネーターの役割 ～実践と考察～



かみかつ
茅葺き学校

坂本真理子

(阿南高専研究員、かみかつ茅葺き学校事務局長)

自己紹介

- 徳島県小松島市出身
- 第2の大学、淡路景観園芸学校専門課程にて景観生態学を学ぶ。上勝町との出会い。
- 2006-2009 上勝町にて「徳島県立高丸山千年の森」指定管理者かみかつ里山倶楽部の設立関与、事務局を担う。
- 結婚、出産、子育て。
- 2009-2019 上勝町を拠点とするシンクタンクにて合意形成、協働形成、ファシリテータ経験
- 2012-2018 徳島大学博士後期課程 「協働のまちづくりにおける調整役機能」
- 2017～阿南高専研究員として「生物多様性あなん戦略」策定、推進PJ
- 2018～かみかつ茅葺き学校PJ

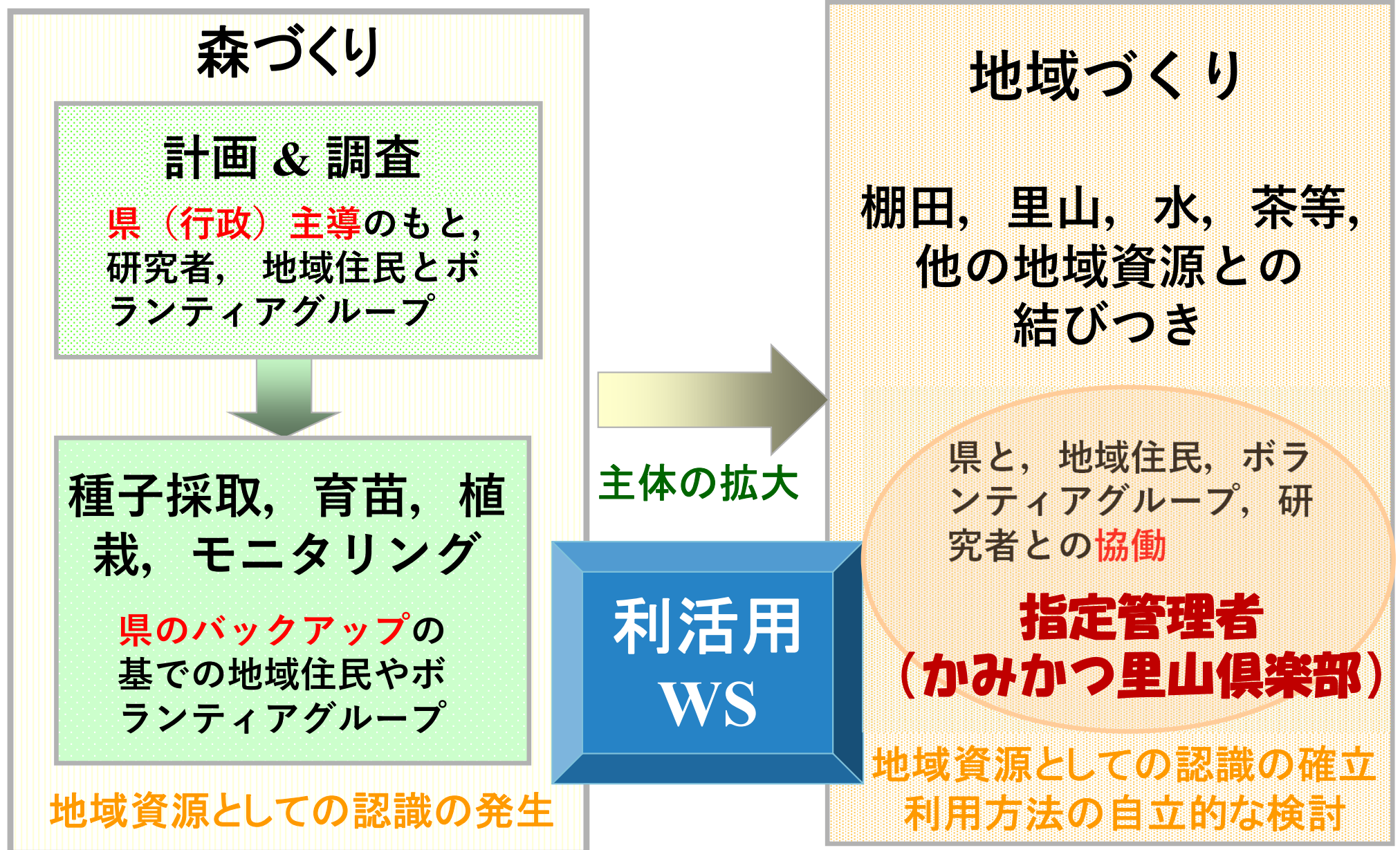


徳島県立高丸山千年の森 伐採跡地での自然林再生事業



「森づくり」から「地域づくり」へ

主体の拡大による利活用の広がりの可能性

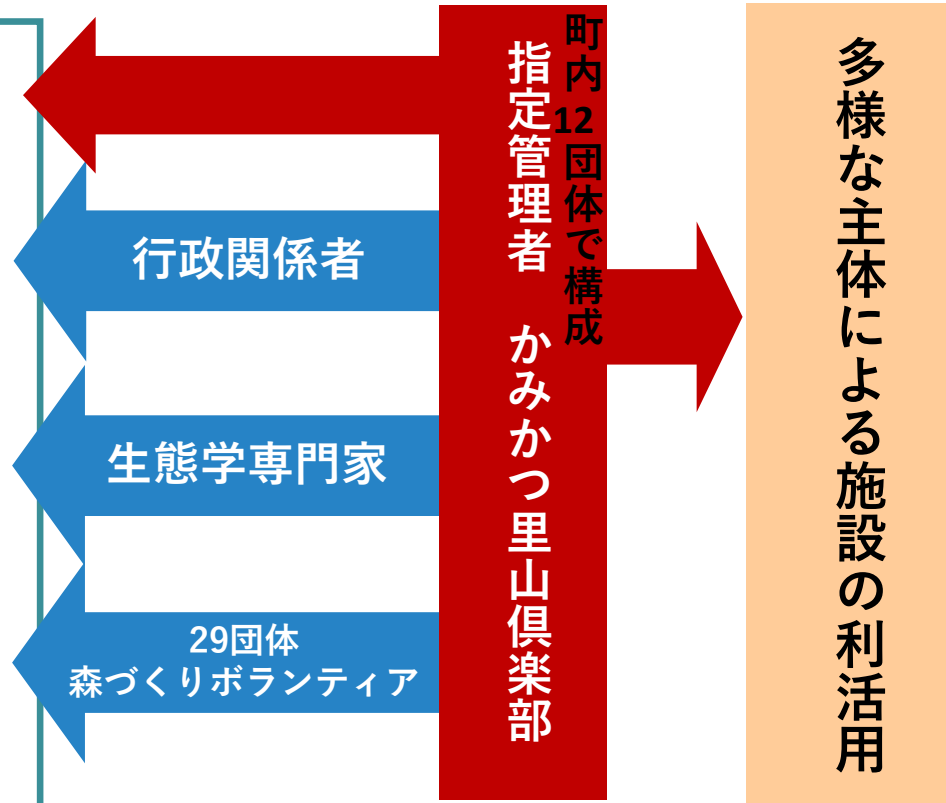
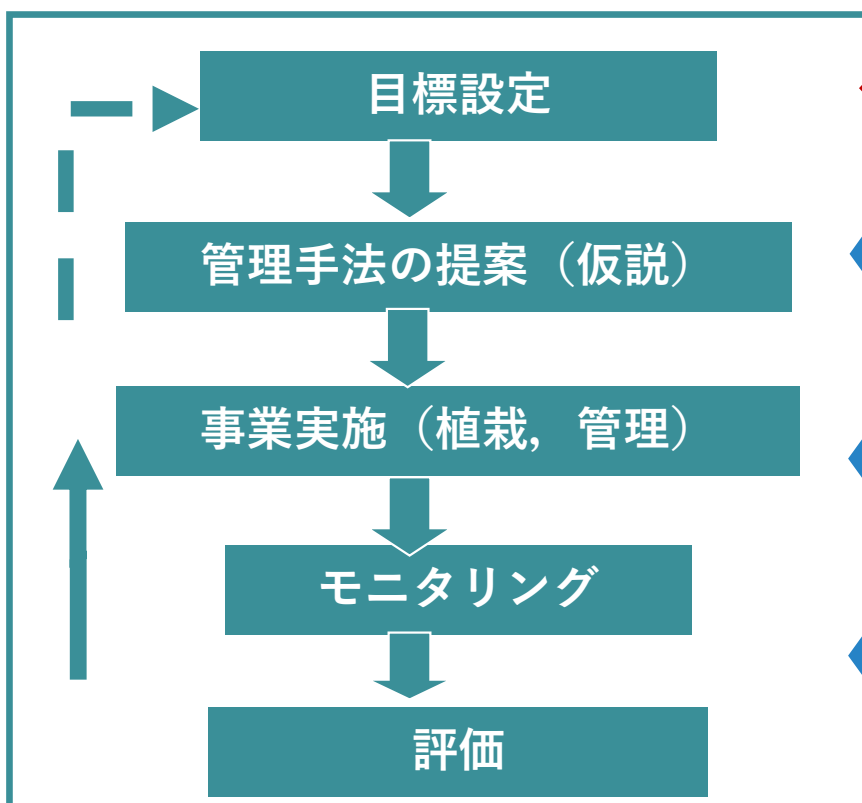


・ 地域住民、科学者、行政、一般市民それぞれが大事な存在、交わる
ことの価値

・ その架け橋となる、事務局が必要不可欠



順応的
管理による
森づくり



まちづくり には 協働が必要 不可欠

課題解決

- 社会の課題は個人でどうにかならない。**人と人をつなぐ役割**を果たす職能が必要（山崎亮、コミュニティデザインの時代2012）

地域資源活用

- 外来者が主体的にマネジメントできるのは地域資源を保有する**地域住民との相互行為**を繰り返しているから（坂本達俊：NPO法人かみえちご山里ファンクラブを事例として2009）

農山村再生

- 外部主体による広範な支援が必要、**協働を束ねる地域マネジメント**組織の構築と持続的運営...（小田切徳美：農山村再生に挑む2013）

まちづくり の担い手

≡ 地域コーディネーター

協働コーディネーター（世古：2007）

- 市民、NPO、行政の「協働」
- **参加のデザイン**（プロセス、プログラム、構成）の専門家

協働アクティビスト（小島ら：戦略的協働）

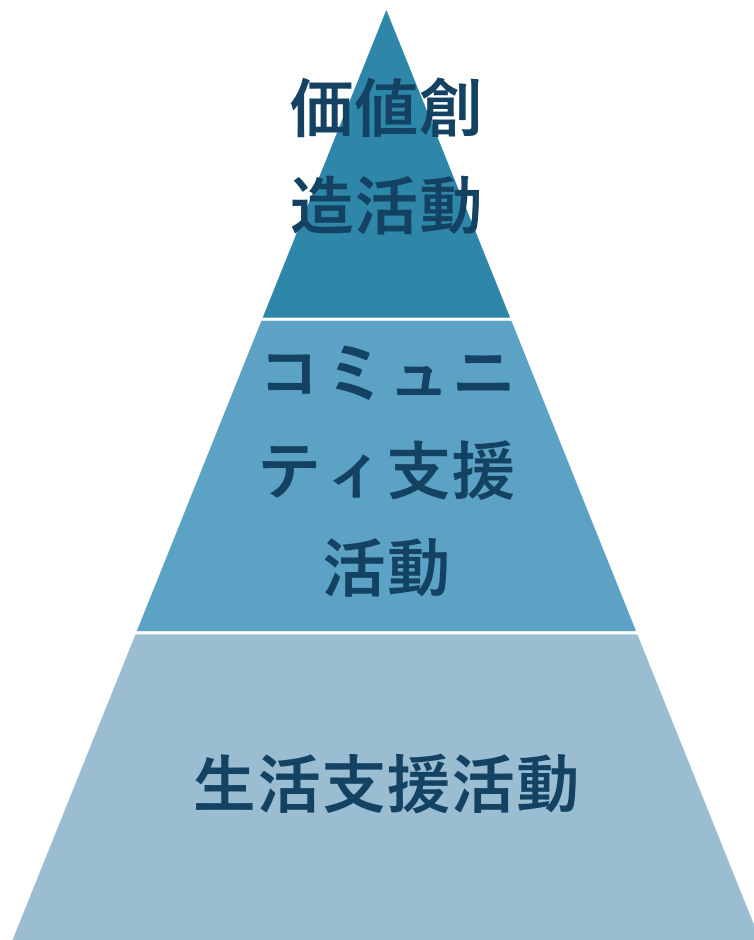
- 問題、解決策、組織のやる気、活動を結びつける役割
- **自らの資源**（時間、コミットメント、人的ネットワーク、名声等）**を進んで投じ**、協働に影響を及ぼす

地域サポート人材（図示ら：2013）

- 「集落支援員」「地域おこし協力隊」など
- 地域サポート人材、活動地域集落、受け入れ自治体担当者、3者がお互い成長しあう関係づくりが必要

発展的に積み重なるプロセス
を経ることが本質

地域サポート活動の3種類



協働コーディネーター（世古：2007）

- 市民、NPO、行政の「協働」

第3者的存在

- **参加のデザイン**（プロセス、プログラム、構成）の専門家

協働アクティビスト（小島ら：戦略的協働）

- 問題、解決策、組織のやる
つける役割

担い手
プレーヤー

- **自らの資源**（時間、コミットメント、人的ネットワーク、名声等）**を進んで投じ**、協働に影響を及ぼす

地域サポート人材（図示ら：2013）

- 「集落支援員」「地域おこし協力隊」など

- 地域サポート人材は自治体担当者、関係づくりが必要

自身の自立のために活動や仕事づくりの中で、地域住民との協働が必要不可欠となっている。



専門性は一般的でなく、職能として確立しているとは言えない。

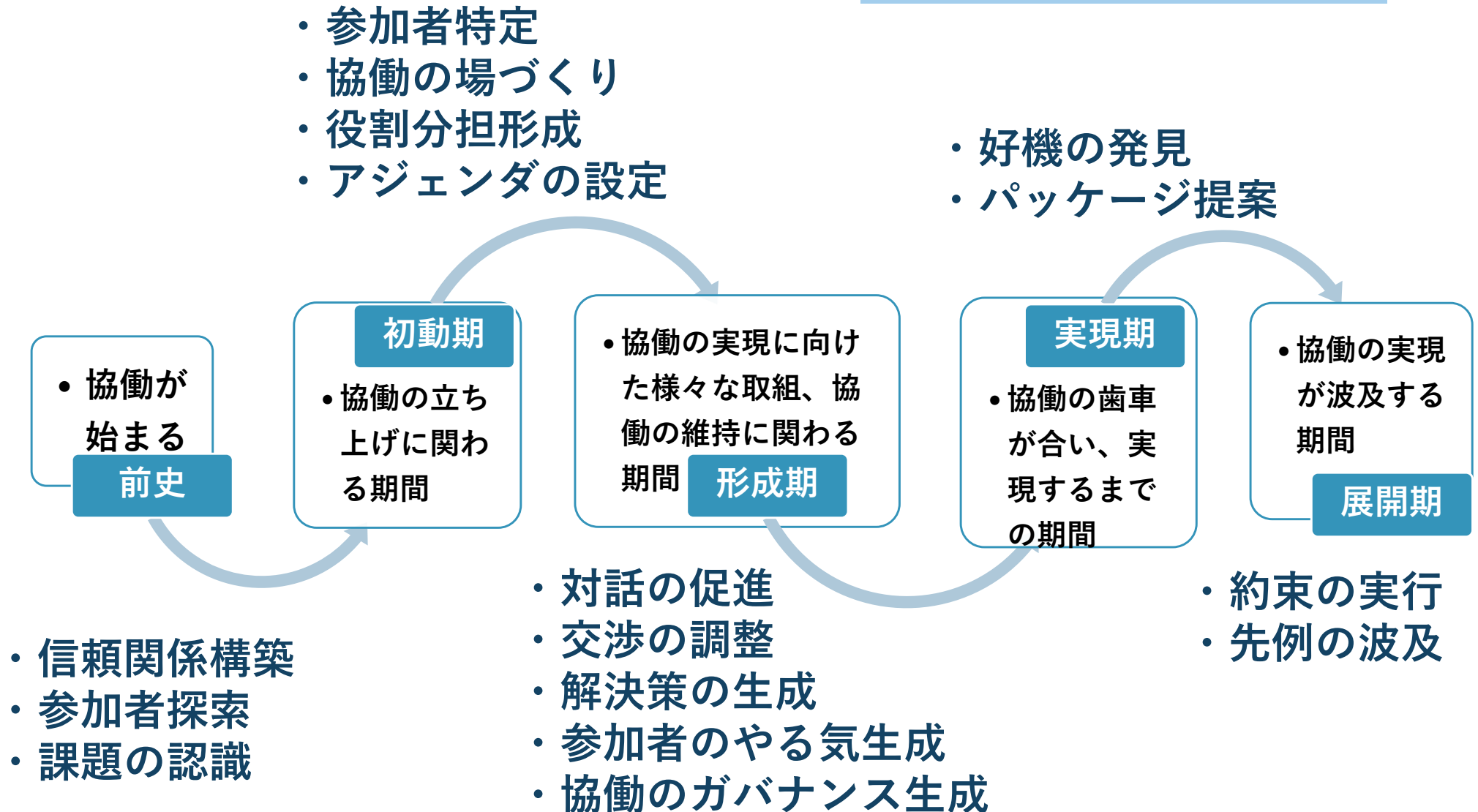
地域コーディネーター

立場や専門が異なるが、**調整役機能**を知ること、協働の推進に役立つのではないかな。

スーパーコーディネーターに頼らなくてもできることがあるのではないかな。

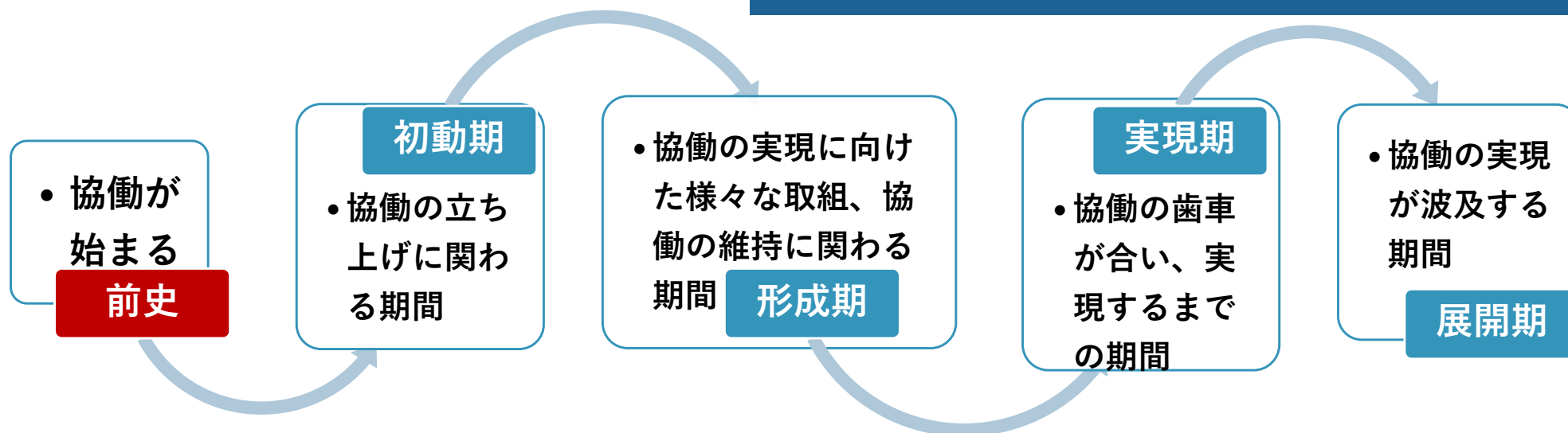
協働のまちづくりにおける調整役機能

期間の区分と活動目的



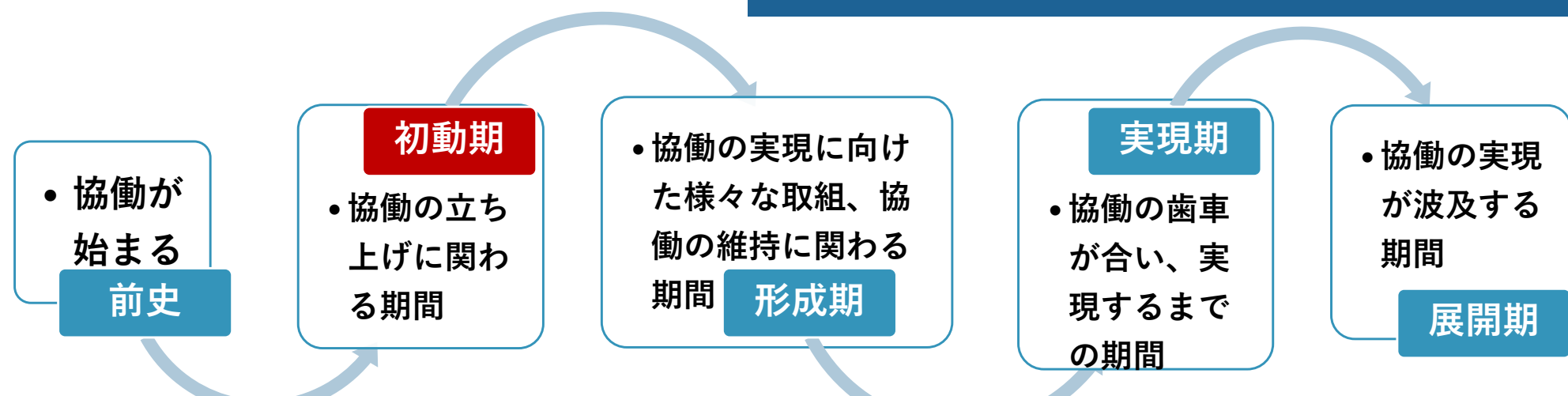
実践のプロファイリング手法を用いた協働のまちづくりにおける調整役機能に関する研究 2017坂本,山中,澤田

調整役機能整理



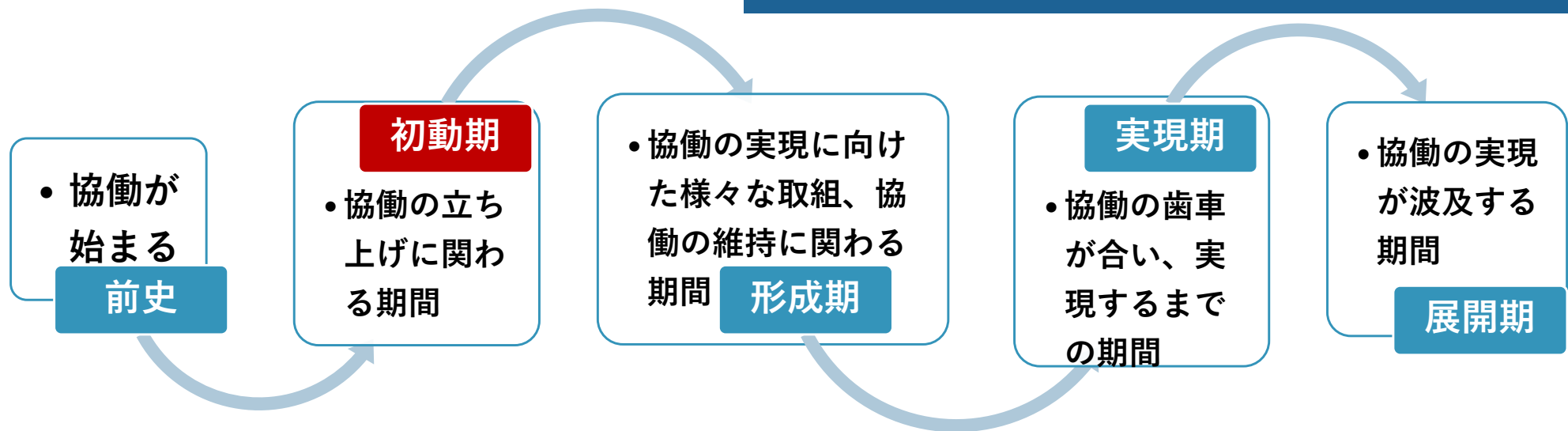
区分	活動目的	調整役の行動
前史	信頼関係構築	・ 地域における複数の役割を果たす ・ 地元リーダーとの事前調整をする
	参加者探索	・ 招集者の特定をする ・ アセスメントを作成する
	課題の認識	・ ステークホルダーの利害・関心を整理する ・ 対象地での課題を認識する

調整役機能整理



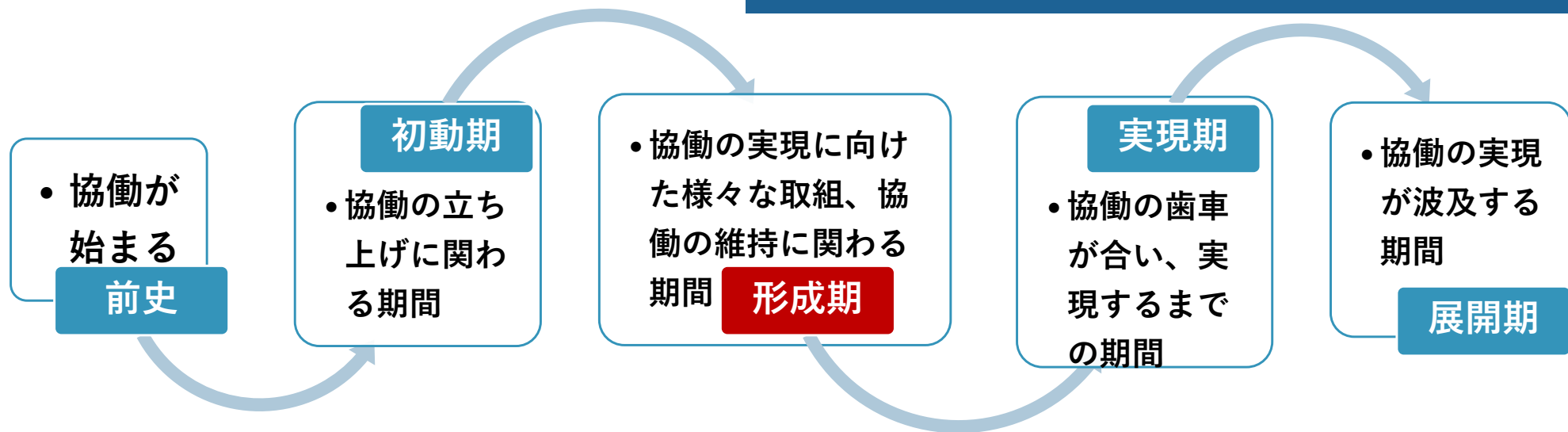
区分	活動目的	調整役の行動
初動期	公式な場への働きかけ 参加者の特定	・ 権限に持つ人に取り組みの事前説明をする ・ 夢を描く ・ 信頼性を見極める ・ 参加者の意識・意欲を醸成する ・ 参加者の相互補完性を認識する ・ ステークホルダーを巻き込む
	役割分担形成	・ 参加者の立場と役割づくりをする ・ 事務局運営をする
	アジェンダの設定	・ 複数の具体的問題を融合しアジェンダに昇華させる

調整役機能整理



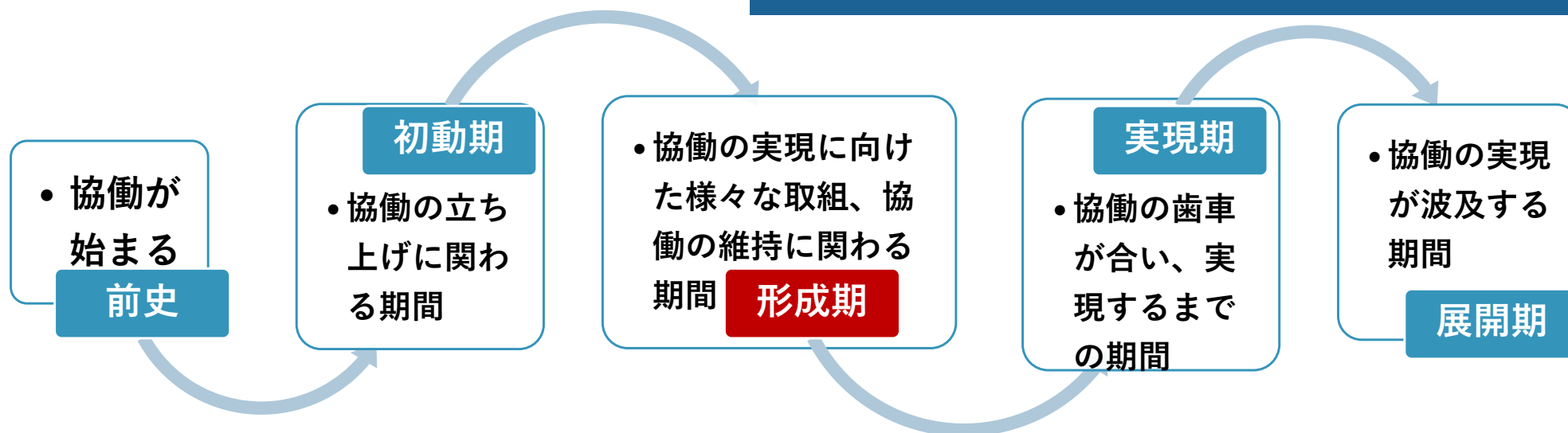
区分	活動目的	調整役の行動
初動期	協働の場づくり	・ 問題意識の植え付けをする ・ 情報提供・戦略を支援する ・ 参加のルールを決める ・ 取組のプロセスの中身を文書として作成・共有する ・ 複数の重層的場を設定する ・ 複数の場に橋かけをする ・ 参加者の情報共有，意思形成を支援する ・ 複数の重層的場を設定する

調整役機能整理



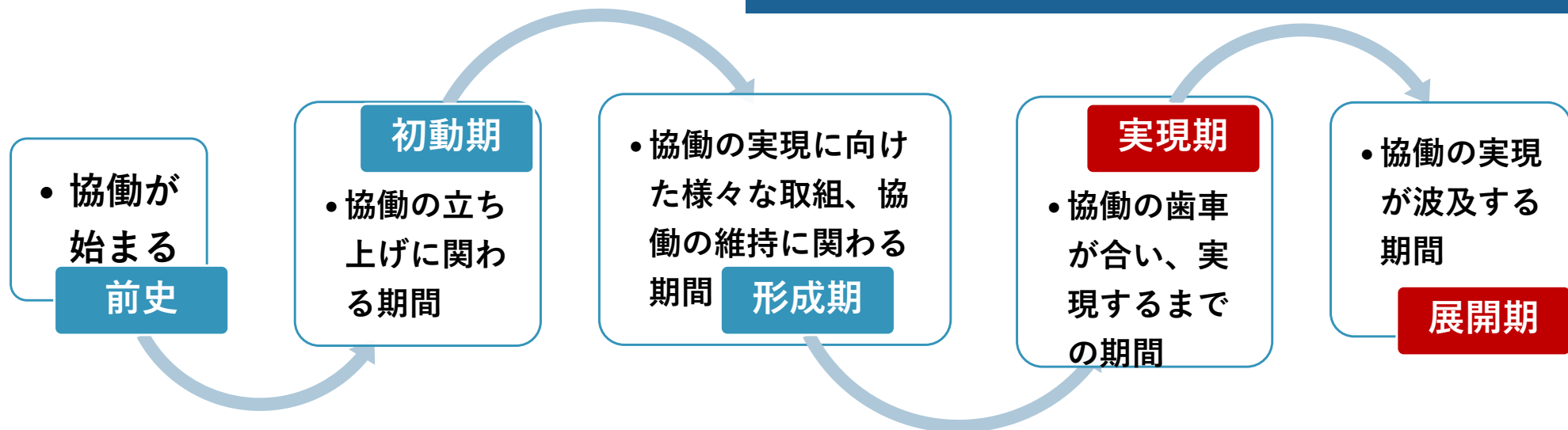
区分	活動目的	調整役の行動
形成期	対話の促進	・ 透明性の向上に努力する ・ 専門家の助言を求める
		・ 相互利益の最大化のための検討作業をする ・ 進捗に合わせて議題を修正する
	交渉の調整	・ 非公式な場における調整をする ・ 個別の交渉をする

調整役機能整理



区分	活動目的	調整役の行動
形成期	解決策の生成	・ 信念や思いの具現する解決策を生成する ・ 実行可能性を意識する
	参加者のやる気生成	・ 協働の危機を乗り越える ・ 社会的注目度を高める
		・ 新たなプログラムを開始する ・ 担い手の人材育成をする
	活動の生成	・ 活動の試行錯誤を実行（支援）する ・ 偶然の活動を協働プロジェクトに結びつける

調整役機能整理



区分	活動目的	調整役の行動
実現期	好機の発見 合意の達成	・ 協働が実現できる好機を発見する ・ 共通利益の最大化を図る
		・ パッケージ案（合意案）の作成
展開期	約束の実行 先例の波及	・ 各参加者がパッケージ案を実行する ・ 協働の成果を他の領域に波及させる

かみかつ茅葺き学校

複数の地域コーディネーターが協働で運営



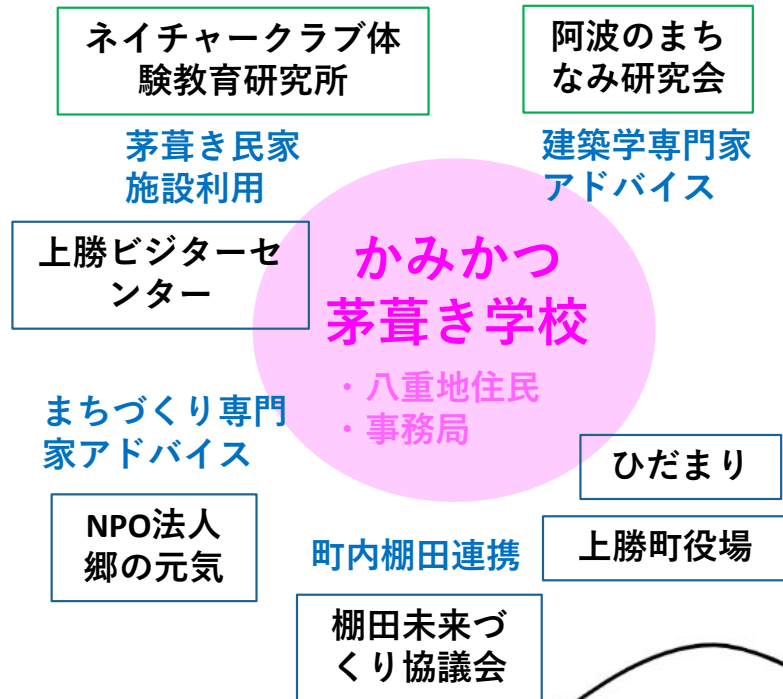
現時点での地域版マンダラ

山のめぐみを活用した集落の豊かな暮らしの持続



目指す"地域プラットフォーム"のイメージ

2020年4月頃の地域プラットフォームの状況



2021年6月現在の地域プラットフォームの状況



より強化したい地域プラットフォームの機能

- ・ビジネスパートナーの獲得（金融機関連携含む）・・・持続可能な運営、展開
- ・インフルエンサーとの連携・・・情報発信機能強化
- ・かみかつ茅葺き学校のプレイヤー強化・・・コンテンツとしてのブラッシュアップ

山しごとができる女になる！



企業の社員が田づくりに参加



若者たちが茅葺き民家でキャンプ



「あえるば上勝」による、「やえじいと遊ぼう」体験の受入れ

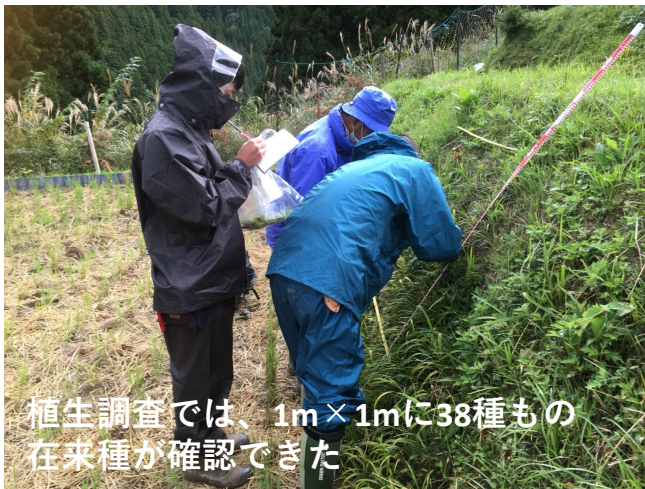


かみかつ茅葺き学校を介して、いろんな人が行き交いました。



上勝町インバウンドプログラム試行
茅葺き民家における、布草履づくりws、
石臼コーヒー体験

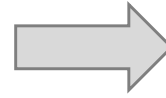
植生調査では、1m×1mに38種もの
在来種が確認できた



若者たちによる、稲刈りはお祭りのよう



茅葺き民家10年間の経緯



第1フェーズ：茅葺き民家再生

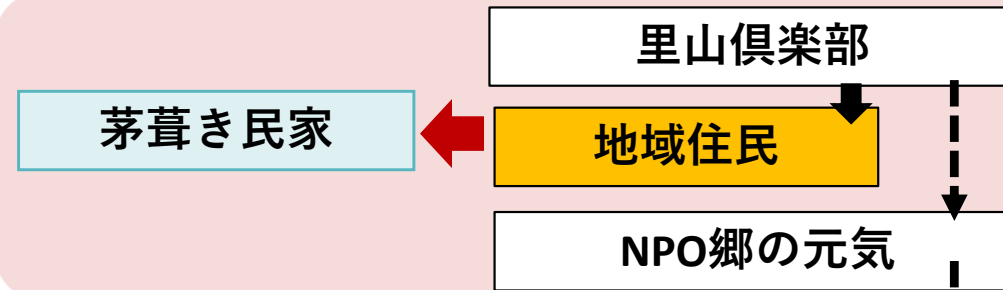
2011-2012 かみかつ里山倶楽部。雇用事業による人材が茅葺き民家の再生を実施

2015 かみかつ里山倶楽部 → 郷の元気

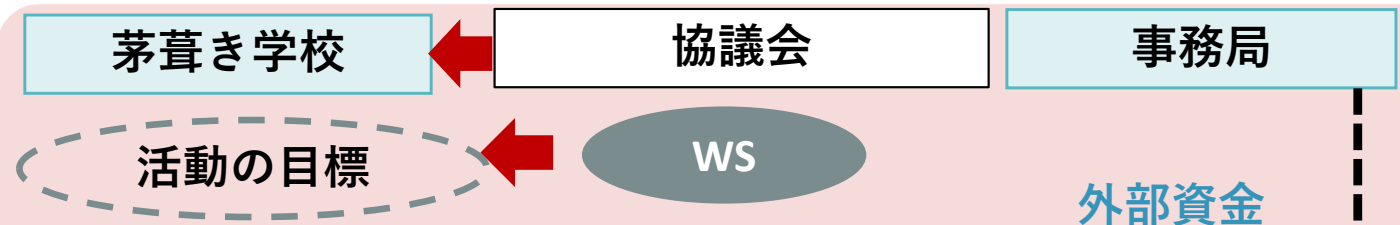
2016-2017 地域おこし協力隊（受け入れ：郷の元気）

2018-2019 環境省同時解決事業「協働によるかみかつ茅葺き学校の実施」（郷の元気）

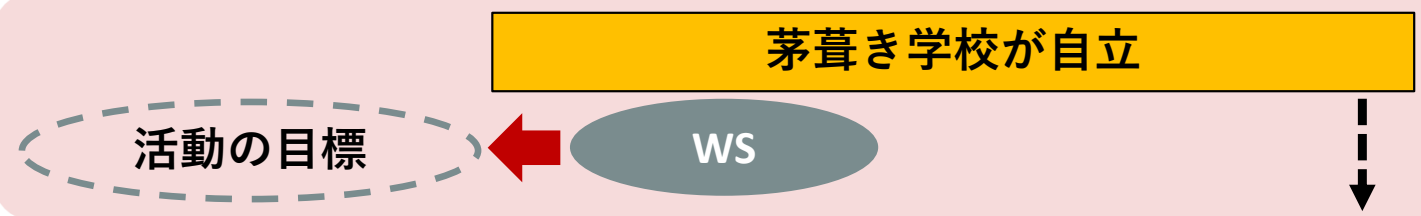
2020-2021 環境省地域循環共生圏PF事業（2020年4月かみかつ茅葺き学校設立、受託）



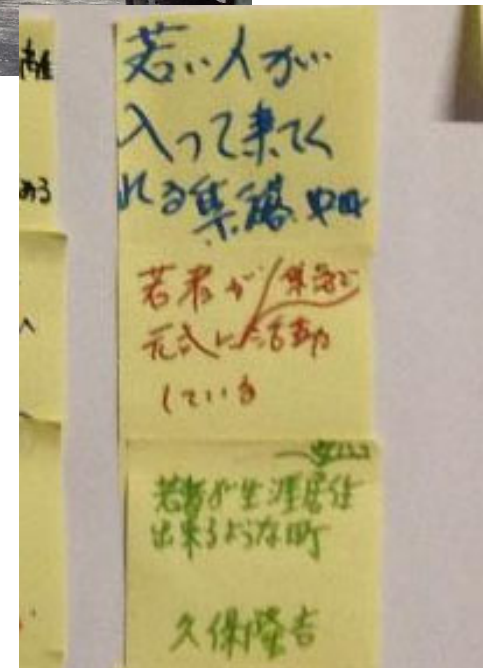
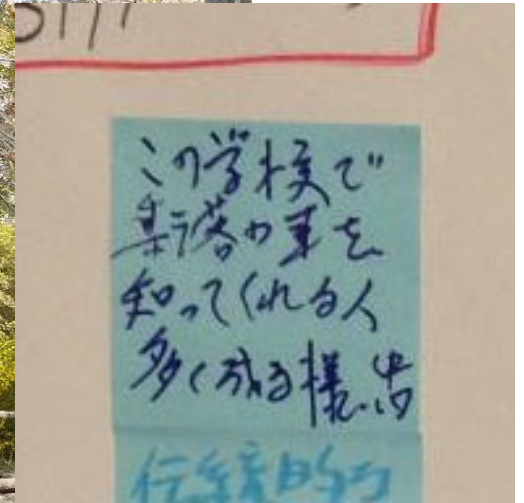
第2フェーズ：茅葺き学校誕生



第3フェーズ：コミュニティビジネスへの展開



2020 かみかつ茅葺き学校の自立



地元がしたいことを、実現しよう

「みんなが0.2だしあえば1になる」
みんなで力を出し合おう



元) ゼロ・ウェイストアカデミー事務局長
現) 上勝町ゼロ・ウェイスト推進員

上勝町ゼロ・ウェイストパッケージ



リサイクル率約80%



いっきゅう茶屋（上勝町内唯一の産直、集客拠点）店長

- ・ じいの気持ちがわかる
- ・ 自分事として農作業ができる



2021年～

八重地応援隊の活動の下支え
八重地住民との信頼関係構築



山の楽校・自然の宿あさひ運営

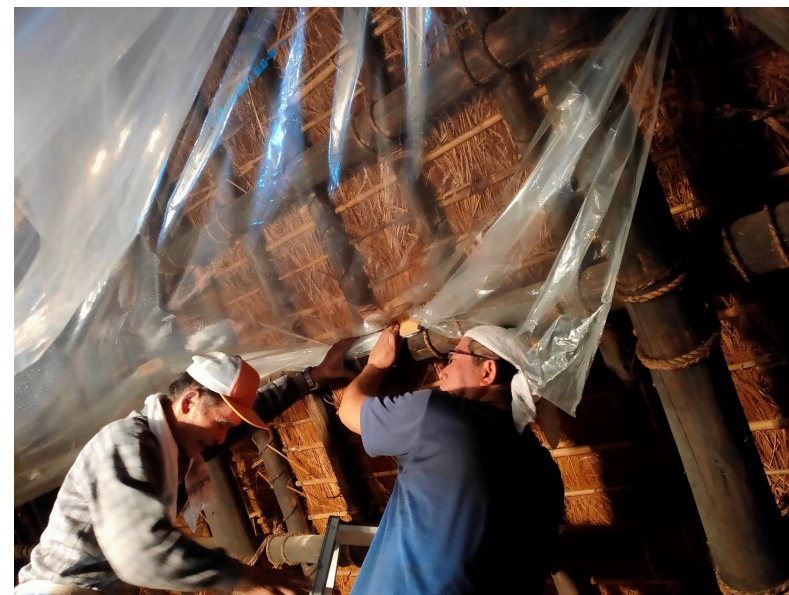
2021年～

- ・上勝の仕事師
- ・(株)カミカツーリスト代表
- ・経営、マーケティング

じい達の役割を支援

八重地住民との信頼関係構築

形成期における解決策生成



かみかつ茅葺き学校定例会

- ・月1回
- ・顔を見ながら、情報共有、協力体制確認

**役割の価値を認めあい、
助け合える関係性を構築**

かみかつ茅葺き学校事務局会議

- ・随時 個別あり、全体あり
- ・細かい相談事



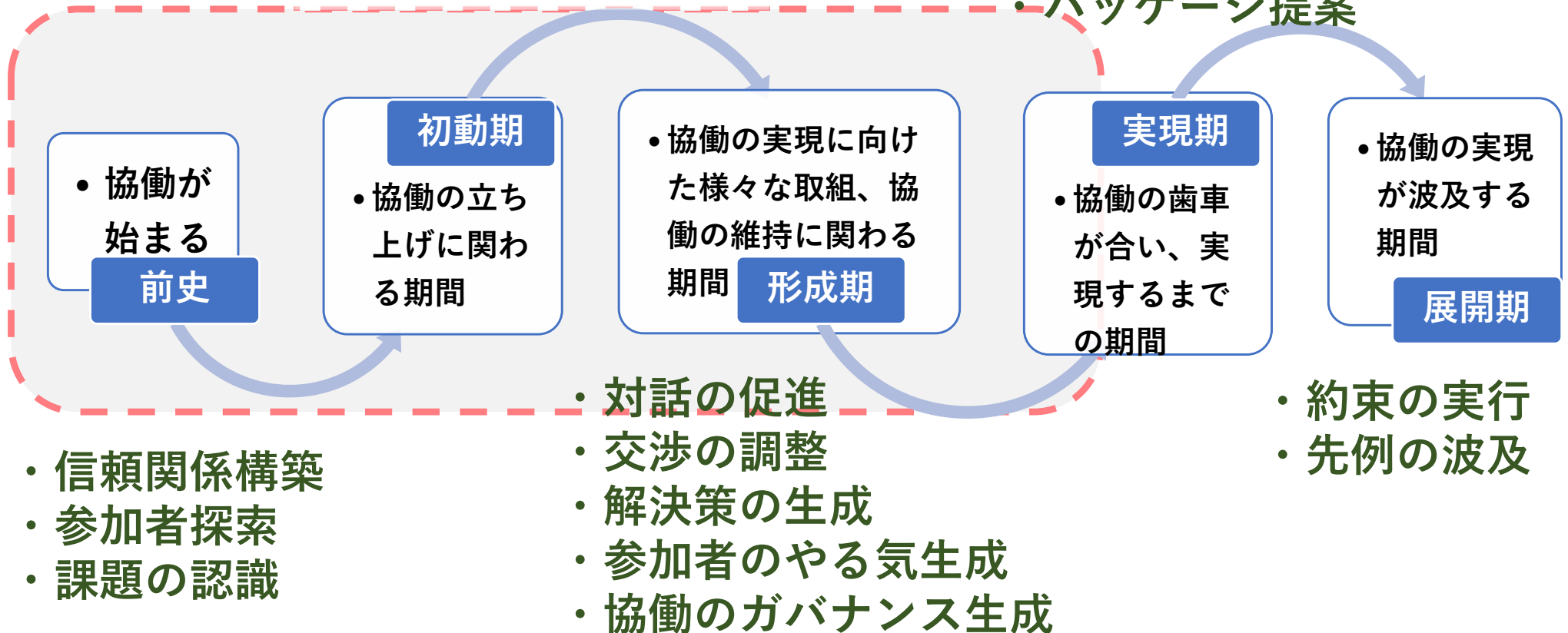
2020年

- ・参加者特定
- ・協働の場づくり
- ・役割分担形成
- ・アジェンダの設定



2021年

- ・好機の見発見
- ・パッケージ提案



地域コーディネーターの役割 ～実践と考察～

1) 協働のステージに異なる活動目的がある

2) 協働の基盤は、人と人の関係性。

プロジェクトありきではない。

- ・参加者特定
- ・協働の場づくり
- ・役割分担形成
- ・アジェンダの設定

- ・好機の発見
- ・パッケージ提案

